

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	独立行政法人交通安全環境研究所 施設整備費(一般勘定)		担当部局庁	自動車局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成13年～		担当課室	技術政策課		課長 江角 直樹	
会計区分	一般会計		施策名	41 技術研究開発を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人交通安全環境研究so法)		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	交通安全環境研究所に運輸技術のうち陸上運送等に関する安全の確保、環境の保全及び燃料資源の有効な利用の確保等に資する調査、研究及び開発等を行わせるための施設等の整備に必要な経費。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	運輸技術のうち陸上運送等に関する安全の確保、環境の保全及び燃料資源の有効な利用の確保等に資する調査、研究及び開発等を行うための施設について、老朽化に対する改修や新しい施設・設備の整備を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	100	92	46	45	135
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	53	87	75	-	-
	計	153	179	121	45	135	
	執行額	66	104	115	-	-	
執行率(%)	43.4%	57.9%	94.6%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	整備実施件数	成果実績	件	2	1	2	-
		達成度	%	43.4%	57.9%	96.5%	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	施設整備費執行額	活動実績 (当初見込み)		66 (153)	104 (179)	115 (119)	- (45)
		算出根拠	施設整備費執行額				
単位当たりコスト	施設整備費執行額 115百万円						
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	独立行政法人交通安全環境研究所施設整備費補助金	45	135	ハイブリッド・電子制御車両総合試験設備の整備			
	計	45	135				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・国が実施する関連行政施策の立案や技術基準の策定等を支援するための研究などに必要な施設等の整備を行うものであり、優先度が高く、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・独法の事業遂行に必要な施設整備を支援するものであり、施設整備費以外の手段はない。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	23年度においては、「ハイブリッド・電子制御車両総合試験設備の新設」と「交通システム安全性研究棟新設(2階工事等)」の2件の施設整備事業が実施されており、当該事業に係る補助金は、「独立行政法人通則法」、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」及び「独立行政法人交通安全環境研究所施設整備費補助金交付要綱」等により交付されており、同法令等に基づき、事業計画、事業遂行状況等の報告を受けることにより、使途及び実施状況を十分に把握できる体制を整えており、適正に予算が執行されていることを確認している。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業の実施に際しては、競争入札の活用を徹底し効率化を図りつつ、自動車の新技術も適切に評価できるような施設に改善すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	競争入札の活用を徹底し効率化を図りつつ、自動車の新技術も適切に評価できる施設に改善する。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	324	平成23年行政事業レビュー	0302

国土交通省  
115百万円

交通安全環境研究所の施設整備  
の総合調整を行う。



A. (独)交通安全環境研究所  
115百万円

既存施設・設備の老朽化に対す  
る改修や新しい施設・設備の整  
備の実施。



【関東地方整備局に委託】

B. 民間事業者(2社)  
71百万円

・交通システム安全性研究棟の  
新設 及びシミュレータの整備。  
※平成22年度から繰り越された  
関東地方整備局に委託した工事  
であり、関東地方整備局から民  
間事業者が発注した工事。

【一般競争入札】

C. 民間事業者(1社)  
44百万円

・ハイブリッド・電子制御車両総合試験  
設備の整備。

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

A.(独)交通安全環境研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	施設改修工事等	0			
計		0	計		0
B.(株)富士工			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	施設新設工事等	70			
計		70	計		0
C.(株)堀場製作所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	設備改修工事等	44			
計		44	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)交通安全環境研究所	・自動車の安全／環境基準案の策定、国際基準調和活動 ・鉄道等の都市内公共交通機関のシステム評価と実用化推進 ・国の目標達成のための先進的技術開発(インフラ整備や法制・基準策定などを必要とする先進的技術開発)における産学官連携等の中核的役割等国の目標に直結した業務を行う。	115		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)富士工	交通システム安全性研究棟新営工事	70		
2	(株)あい設計	設計業務	1		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)堀場製作所	定容希釈および排出ガス測定評価装置	40	2	93.19%
		ガソリンCVS装置改造	4	1	98.62%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					